

**憲法しんぶん 速報版**  
発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2022年3月14日(月)  
NO. 1253号  
本号3頁

**憲法会議 第57全国総会 開催**

**〈報告 その1〉**

**日本国憲法施行75年、憲法学習運動、署名宣伝活動を草の根から広げ、共同を強めて全力で、岸田改憲を阻止しよう！**

2021年10月14日投開票の総選挙の結果、改憲を主張する勢力の議席数が3分の2を超える大変残念な結果となり、改憲の動きが一気に強まり、憲法は今、戦後最大の危機を迎えています。

自民党は昨年秋には「憲法改正推進本部」を「憲法改正実現本部」に名称を変更し、挙党体制を確立し、「憲法改正国民運動委員会」を立ち上げて全国遊説を行い、世論醸成をはかり、次の総選挙までの間に改憲を実施しようとしています。まさに、草の根からのたたかいが重要となっています。

また、2月24日に始まった国連憲章、国際法の基本原則に反するロシアのウクライナ侵略に、ただちに軍事作戦を中止し、撤退することを求める運動が世界各地で展開されています。一方で、この侵略に乗じて、国内では「核共有」の検討、憲法9条の改悪や敵基地攻撃能力の保有を求める動き等が強まっています。

そのようなもとで、日本国憲法施行75年を迎える今年、強まる改憲策動をめぐる情勢を共有し、この間のたたかいの成果と教訓を確認しあい、9条改憲、敵基地攻撃能力保有等を阻止するたたかい、7月に実施される参院選挙で改憲派を少数に追い込むとともに、憲法が生きる社会の実現をめざすたたかいの意思統一の場として、3月13日(日)の午後、全労連会館で、第57回総会を規約にもとづき開催しました。

総会には、オンライン参加が26名、会場参加が16名と合わせて42名が参加しました。

**議事の前に代表委員の小林武沖縄大学客員教授が講演**

総会では、代表委員の吉田健一自由法曹団団長が開会あいさつを行い、その後、議事の前に、代表委員の小林武沖縄大学客員教授が、「憲法を改正するとはどんなことかー改憲論者の作法を問う」とのテーマで講演。次に、代表委員の山下芳生衆院議員・日本共産党副委員長が、あいさつとともに国会報告を行いました。



その後、事務局長の高橋信一が、総会議案と決算等の会計関係を提案。会計監査の長屋勝彦歴教協力事務局長が監査報告を行いました。それを受けて、質疑・討論が行われ、9名が発言しました。

高橋事務局長の「討論のまとめ」の後、提案された議案、決算等が参加者の拍手で承認されました。さらに、2022年度の新役員案が、代表幹事の川村伸好全労連副議長から提案され、拍手で確認されました。最後に、代表委員の隅野隆徳専修大学名誉教授が開会挨拶を行いました。

〈小林氏の講演、山下氏あいさつ、9名の発言等は、次号から何回かにわたって報告します。〉

**「ただちにウクライナから撤退せよ」と1200人が抗議デモ**

ロシアによるウクライナ侵略に抗議し、戦争反対をアピールするデモが11日、東京・新宿で行われました。総がかり行動実行委員会が呼びかけて1200人が参加。「ロシア軍は撤退せよ」などのプラカードを掲げながら「戦争やめろ！」と声をあげました。

青と黄のウクライナカラーを身に着けた人が目立つなか、出発前集会では日本体育大学教授の清水雅彦さん、作家の落合恵子さんなど幅広い立場の市民がスピーチし、日本共産党から小池晃書記局長、山添拓参院議員が参加しました。

総がかり行動実行委共同代表の高田健さんは、いま世界中で侵略戦争に抗議する行動が広がっていると強調。日本で一部の政治家らがこの機に乗じて改憲論議や米国核兵器の配備を主張していることを批判し、「憲法9条、非核三原則なくして平和はないと強く訴えていきましょう」と訴えました。

落合さんは、「私たちは怒っています。ロシアはもちろん、日本で憲法を変えて核兵器を持つと主張する人たちに」と訴え。「諦めずに声をあげて少しずつでも社会を変えていきましょう」と述べました。

埼玉から参加した男性(68)は「プーチンは狂っている。ロシアはただちにウクライナから撤退すべきです。日本政府は、憲法9条を持つ国として、平和外交で解決に奮闘すべきです」と話しました。

## **大阪では800人が参加し、「緊急集会とパレード」実施!**

大阪では9日、「緊急集会とパレード」が実施されました。集会は、二木洋子(市民連合高槻・島本)さんの司会で6時半からスタート。1分間の黙とうを捧げたあと1000人委員会大阪共同代表の米田彰男さんが主催者を代表して挨拶しました。

市民アピールでは、ウクライナ現地の様子や市民の思いを豊中市在住の市民がアピール。つづいて、日本ユーラシア協会榊さんとロシアの方からアピール。ロシアの方は、いま日本国内で広がっているロシア人へのバッシングに対して抗議されました。

閉会のあいさつは大阪憲法会議副幹事長西晃さん、5.3憲法集会への参加を呼びかけられ終了しました。参加者はパレード時点で800人を超えました。

7時からパレードにうつり、「戦争反対!」「一緒に歩きましょう」とコールしながら梅田の繁華街を行進しました。

## **憲法共同センター「9の日」宣伝行動**

### **ロシアはただちに軍事行動を注視し、ウクライナから撤退せよ!**

憲法共同センターは9日昼、新宿駅西口で、ロシアによるウクライナへの侵略が激しくなるのか、「ロシアはただちに軍事行動を注視し、ウクライナから撤退せよ!」、「岸田政権は改憲論議ではなく、憲法9条を生かした平和外交を」と声を上げながら、「9の日」宣伝を行いました。10団体22人が参加し、「憲法改悪を許さない全国署名」は20の方が協力して下さいました。日本在住のポーランド人の女性も署名してくれました。カンパも寄せられました。

全国革新懇代表世話人で元東京都狛江市長の矢野裕さんは、「ロシアは満州を侵攻した日本と同じことをしている。戦争は人を殺し、殺されることになる。一人ひとりに人生があるということにもっと想像力を働かせるべき。戦争をさせない努力が大切。世界中の国々が国連憲章に基づいた平和と安全のための行動をすべき時だ」と強調しました。

日本原水協事務局長の安井正和さんは、「原爆が投下された広島、長崎があり、憲法9条を持っている日本が、ロシアはウクライナから撤退せよと声をあげるべきだ。核兵器のない世界は国際政治の流れ。日本はただちに核兵器禁止条約を批准せよ」と訴えました。

全労連女性部部長の舟橋初恵さんは、「私たちは憲法9条に守られているからこそ平和な毎日が過ごせる。全国津々浦々からSNSも使い、不毛な戦争はやめよ、ロシアは侵攻をやめよと声をあげよう。憲法改悪に反対する署名にご協力を」と呼びかけました。



全日本民医連事務局次長の木下興さんは、「いのちが大切、憲法を守り・いかすことが大切。憲法をいかした外交が求められている。武力で平和は守れない」と訴えました。

農民連の町田常高さんは、「ウクライナとロシアは世界の小麦の3割を輸出しており、小麦が高騰している。日本の食料自給率は37%で小麦の自給率は13%。国民を守るといって軍備強化という話になるが、この自給率で国民のいのち・くらしを守れるか。戦争反対、9条守れ、自立可能な農業の実現を求めて運動をすすめ、参議院選の争点に押し上げたい」と訴えました。

横断幕を広げていると、寄ってきて「プーチンは酷い!すぐウクライナから徹底すべきだ」と話しかけてきた人や、「頑張る」と声をかけてくれる方もおり、行動に参加した私たちは元気になり、「ロシアはウクライナから撤退せよ!」「改憲許すな!」の世論を広げて行こうと改めて決意しました。

## 各地のとくみ

### 北海道 「憲法守る」北海道から、「全国署名 3・8キックオフ集会」開催

札幌市で8日夜、「憲法改憲を許さない全国署名 3・8キックオフ集会」が、市内の会場とオンラインでつないで開かれ、北海道内で50万人の署名を集め、改憲をはね返そうと決意を新たにしました。

北海道憲法共同センターの渡辺達生共同代表（弁護士）が主催者あいさつ。小田川義和憲法共同センター共同代表が報告し、「夏の参院選は『改憲翼賛体制』を許さないたたかいの正念場。力を合わせよう」と呼び掛けました。

北海道平和運動フォーラムの清末愛砂代表（室蘭工業大学教授）がビデオメッセージを寄せました。「敵基地攻撃能力の保有とは、ウクライナに侵攻しているロシアと同じことができる能力であり、専守防衛の立場上からも看過できない」と連帯あいさつしました。

道労連の三上友衛議長は、維新に日本被団協が出した抗議声明を紹介し、「ロシアでは、反戦を主張する市民は拘束され、情報は遮断されているが、私たちの行動や訴えはネットやSNSを通じて必ず届いている」と指摘。「唯一の戦争被爆国の日本が『核兵器は必要』と発言することは、絶望しか与えない。日本国民が『武器を捨て、対話で平和を』と行動していることを彼らにも伝える必要がある」と強調しました。

### 和歌山 ウクライナへの緊急人道支援募金を呼びかけ

「憲法9条を守る和歌山市共同センター」と「憲法9条を守るわかやま県民の会」は9日、JR和歌山駅前でもウクライナへの緊急人道支援募金を呼びかけ、道行く市民らが応じていました。

安保県民会議の武内正次氏は、ロシアによるウクライナ侵略を「国連憲章に反するもので戦後国際社会の平和秩序を破壊する」と糾弾。ロシア国内を含めた世界に侵略やめろの声が広がっていることを紹介するとともに、自民党や日本維新の会がウクライナ侵略を利用して憲法9条や国連を攻撃していることを批判し、「力に力で対抗することはプーチン大統領と同じ。安倍元首相が核共有を議論しようとする主張しているが言語道断だ。憲法9条を守る声を大きくしよう」と訴えました。

### 千葉 共同センター、ロシアによるウクライナ侵略に反対する宣伝行動

千葉県共同センターは8日、ロシアによるウクライナ侵略に反対する宣伝を千葉市内で行いました。事務局長の本原康雄千葉県労連議長は「ロシアに断固抗議し即時撤退を求める。憲法を生かし平和外交を」と憲法署名を呼びかけ、参加団体がリレートークしました。

通行人が次々と足を止め、「戦争はいけないよねえ。頑張る」とウクライナ支援の募金をしたり、「9条改憲はやっぱりダメ」とシール投票しました。

「プーチン大統領派異常。罰せられるべきだ」と話す男性や、駆け寄って来て順番待ちをして署名する人もおり、30人分が集まりました。

日本共産党の、さいとう和子参院千葉選挙区候補が「ウクライナでは食料、医薬品などの緊急支援が求められている。一人ひとりの力は小さくても無力ではない。国際社会が連帯して声を上げ、戦争を中止させよう」「核兵器と平和は共存できないとの核兵器禁止条約のもと、核で威嚇する行為は許されない」と訴えました。